

やまがた認知症カフェ通信 2016 8月号

平成28年8月15日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

特集

ご存知ですか？ 9月は『世界アルツハイマー月間』、 9月21日は、『世界アルツハイマーデー』です。



国際アルツハイマー病協会 (Alzheimer's Disease International: ADI) は、世界保健機関 (WHO) の承認を受けた NGO です。ADI の本部は現在、英国ロンドンにあり、2015年9月現在 83 の国と地域のアルツハイマー病等に関する全国団体が加盟、日本は 1992 年に加盟しました。

1994 年、スコットランドのエジンバラで ADI の第 10 回国際会議が開催されたことを機に、会議の開会日であった 9 月 21 日を WHO と共同で『世界アルツハイマーデー』と宣言し、アルツハイマー病等に関する認識を高めるための日としました。さらに、2014 年からは、9 月を『世界アルツハイマー月間』として、期間中、世界各国で認知症に対する理解の向上を図るイベントや、街頭での啓発活動などが行われることとなりました。

今年で 23 回目を迎える『世界アルツハイマーデー』ですが、日本の各地でも、この日を中心に、城などのランドマークを認知症シンボルカラーのオレンジ色にライトアップす

るイベントや、認知症を知ってもらうための街頭活動、記念講演会などが繰り広げられます。

なお、来年 4 月 26 日から 29 日までの間、32 回目の ADI の国際会議が前回 2004 年開催から 13 年ぶりに日本の京都府で開催され、多くの国と地域から認知症の方本人、介護者、研究者、医師、企業、行政関係者と、多くの関係者が一堂に会する予定になっていることもあり、来年の国際会議に向けて、今年のアツハイマーデーは特に盛り上がるのが期待されています。

『認知症』という共通のテーマを世界各国の仲間と共に、地球規模で考える、この『世界アルツハイマーデー』と『世界アルツハイマー月間』を機会に、皆さんの認知症カフェでも何か新たなことに取組んでみませんか？

■ 山形県内で予定されている主なイベント

9月10日(土)	街頭活動(酒田市文化センター)12~13時
9月18日(日)	街頭活動(ヤマザワ村山店)11~12時
9月17日(土)~25日(日)	上山城をオレンジ色にライトアップ(計画中)
9月24日(土)	街頭活動(山形アズ七日町)11~12時
	公開講座(霞城セントラル3階)14~16時30分
9月1日(木)~30日(金)	Twitter でつぶやくキャンペーン

※イベントの詳細については下記にお問合せください。

■ 問合せ：認知症の人と家族の会山形県支部

☎023-687-0387(平日 昼 12 時~午後 4 時)

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

ナイトカフェ、はじめました！

さくらんぼカフェでは、7月16日(土)午後6時からナイトカフェを初めて開催しました。当日は、「仕事でなかなか平日、来れなかった」という専門職の方の来所があり、情報交換などして過ごされていました。ナイトカフェでは、通常の開設時間と同様にお茶を飲みながらの交流や面接相談等を行います。また、電話相談もこの時間帯に受け付けています。このように、平日昼間の利用が難しい相談者や来所者の実情にあわせて、今年度はナイトカフェやウィークエンドカフェを開催する予定です。



次回のナイトカフェは、9月17日(土)午後6時~午後8時の開催となります。皆さまのお越しをお待ちしています。電話相談もぜひご利用ください。

■ 問合せ：さくらんぼカフェ ☎023-687-0387(平日 昼 12 時~午後 4 時)

ホットさろん ー金山町ー

「ホットさろん」は、認知症の方やそのご家族の地域全体での支援体制づくりを目的に、平成 25 年 11 月に開設されました。現在、月 1 回開催し、認知症などの高齢者の方、ご家族や地域住民、家族、医療や福祉の専門職の方が自由に参加されています。主な活動は、季節に合わせた介護や健康についての研修会や各種イベント、参加者同士での情報交換となっています。

自慢したいことー 参加者の自らの特技を生かし、イベントの講師を務めることもあり、活躍の場になっています。また、介護を受ける側と介護する側で意見交換を行うことでお互いの気持ちを理解し、気遣える場にもなっているようです。

■ホットさろんの今後の開催予定

日 時	内 容
8/18(木)	高齢者・介護者の相談会 介護教室『高血圧予防の食事について』
9/15(木)	高齢者・介護者の相談会 介護教室『福祉用具についての最新情報』
10/20(木)	高齢者・介護者の相談会
11/17(木)	秋のミニコンサート in 町立金山診療所
12/15(木)	高齢者・介護者の相談会
1/19(木)	高齢者・介護者の相談会 介護教室『らくらく介護教室』
2/16(木)	新春『短歌の会』in マルコの蔵
3/16(木)	高齢者・介護者の相談会 介護教室『介護予防のための口腔ケア』

■基本データ

運営母体	金山町
場所	町立金山診療所(4 階談話室)
開設時間	月 1 回・第 3 木曜日 午前 10 時～11 時 30 分
対象者	どなたでも
内容	医療介護の研修会、情報交換、各種イベント
スタッフ	地域包括支援センター職員
宣伝・広報	介護保険の認定を受けている方やそのご家族へのご案内、町広報

参加者の声ー 参加者からは、「ここに来て、同じ仲間ができて楽しかった。また参加したい」、「本当は、怒りっぽくなっている自分が嫌いだったが、皆さんの前で話ができ、心が癒された」、「同じ立場の人と話ができて気持ちが楽になった」などのお声をいただいております。また、毎回休まずに出席してくださる方もいらっしゃいます。

これからも、認知症の人やそのご家族のみなさんが、住み慣れた地域で、自分らしく笑顔で暮らし続けることのできる地域づくりを目指し、皆さんに愛される「ホットさろん」を続けていきます。

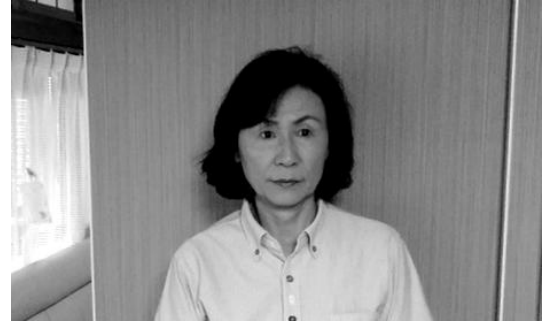
■ 問合せ：金山町地域包括支援センター
☎0233-52-3035



地道に、コツコツと、確実に！！

山形市南部 認知症地域支援推進員(介護福祉士・主任介護支援専門員)
おれんじサポートチーム ころろ

岡本知子(おかもとともこ)さん ー山形市ー



山形市の基本理念である、『住み慣れた地域で支え合い、健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり』を目標に山形市役所長寿支援課地域包括支援係の担当者と密に連携、協働しながら、6月号で紹介のあった齋藤さんと2人体制で活動しています。事業所内では認知症初期集中支援チームスタッフと机を共に和気あいあいとした雰囲気の中、仕事に励んでおります。

最近の活動では、2回目のキャラバン・メイトのフォローアップ研修会を無事終了したところです。現在は、フィットネスクラブ向けにサポーター養成講座開催の準備や非活動のキャラバン・メイトの支援、認知症ケアパス作成に向けて社会資源の把握等で動いています。課題として認知症の人に個別に関わりを持ちたいと思っています。経験談やアドバイスをありましたら教えてください。

(編集部より) 今月は、認知症地域支援推進員として熱心に活動している山形市南部の岡本知子さんです。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域に足を運び、地道に活動しています。そんな岡本さんからの紹介で、今回は、天童市保険給付課の地域包括ケア推進員の小池千恵子さんです。

めざせ！カフェマスター

認知症カフェを極めたいあなたに、マメ知識を紹介します。

認知症カフェ開設時、注意することは？

『認知症カフェをやりたいけど、許可は必要？』とよく聞かれます。認知症カフェは基本的に設置基準はなく、認知症の人と家族・地域の人・専門職がつどい、認知症の人が安心して過ごせる場であれば誰でも自由に開設できます。

一般的にカフェを開くというと、飲食店の営業許可が必要になります。つまり、食品衛生法による保健所への届けが必要になります。また収益が出る場合は税金の関係から税務署へ、そして、カフェの収容人数が30人以上になる時など消防署への届けが必要になってきます。今のところ、多くの認知症カフェはお茶・お菓子程度で、営利目的ではなく福祉的な観点で開催されているため、届けを出さなかったことはないようです。

飲食店の営業許可について、村山保健所にうかがったところ、『食品衛生法の観点から厳密にいうと、営利目的でなくても、参加費をとり、お茶・お菓子類の飲食物を不特定多数の方に提供する場合は営業許可が必要になってくるので、保健所にご相談下さい』ということでした。下図に示すように、無料であれば営業許可は必要ありません。(×印) また、参加者が特定されていれば基本的には営業許可は必要ありませんが、有料の場合は保健所に相談してみてください。(△印)最後に、参加者が不特定多数で有料の場合は営業許可が必要になり、食品衛生責任者などを置き、調理場等の施設基準を満たしていなければなりません。(○印)月1回程度の開催でも、臨時の営業許可が必要になってきます。開設前に、一度保健所に相談されたほうが安心です。

最後にひとつ、保健所の方から『忘れがちですが、お茶をいれる時も手洗いをきちんとしましょう』と言われました。皆さん、茶菓子の提供といえども衛生管理はしっかりしましょう。

営業許可について

参考図書：浅岡雅子著『認知症カフェの始め方・進め方』
矢吹智之著『認知症カフェ読本知りたいことがわかる Q&A 実践事例』

参加費		参加者特定(町内会・学校)	参加者不特定多数
無料		×	×
有料	飲食代	△	○
	参加費	△	○

新規オープンカフェ

のどかカフェ（白鷹町）

- 日時：8月24日（水）14:00～15:30
※原則毎月第4水曜日 14:00～15:30 開催予定
- 場所：ちょぼらの家（白鷹町大字荒砥甲373-8）
- 参加費：無料
- 問合せ：白鷹町健康福祉課地域包括支援センター係
☎0238-86-0112

ほっとひと息カフェ（庄内町）

- 日時：8月25日（木）10:00～11:30（出入り自由）
※10月27日（木）、12月22日（木）、平成29年2月23日（木）開催予定
- 場所：余目第二公民館（庄内町払田字サビ40）
- 問合せ：庄内町保健福祉課地域支援係
☎0234-42-0176

まちなか認知症カフェ オレンジカフェ（新庄市）

- 日時：9月20日（火）13:30～15:00 ※次回11/29
- 場所：ひと休み いっぷく（新庄市沖の町5-11）
- 参加費：200円
- 問合せ：新庄市地域包括支援センター
☎0233-28-0330

ゆうすいカフェ（仮称）（遊佐町）

- 日時：8月30日（火）14:00～16:00
※毎月第4火曜日 14:00～16:00 開催予定
- 場所：特別養護老人ホームゆうすい・喫茶コーナー（遊佐町遊佐字木の下2番地）

- 参加費：100円
- 問合せ：地域包括支援センターゆうすい
☎0234-71-2130

認知症わいわいカフェ（中山町）

- 日時：8月31日（水）14:00～16:00
- 場所：中山町 中央公民館（中山町大字長崎6010）
- 参加費：無料 023-662-2456
- 問合せ：中山町健康福祉課 ☎023-662-2456

認知症カフェ おらんだ（山形市）

- 日時：10月8日（土）10:00～16:00（毎週土曜日）
- 場所：株式会社カノン（山形市城西町5丁目1-7）
- 参加費：500円 ※上記住所に現在建設中
- 問合せ：NPO 法人すみれ会 ☎023-645-0580
※山形市以外の方でも参加可能ですが、送迎等は
ございません。駐車は3台程度可能です。

イベント情報

認知症フォーラム

- テーマ『認知症カフェを知ろう！～みんなで集い支えあう場～』
- 日時（場所）：9/22（さくらんぼカフェ）10/1（新庄駅ゆめりあ・花と緑の交流広場）10/15（酒田市・山容病院）10/16（南陽市中央公民館・えくぼプラザ）
- 問合せ：朝日町立病院（清野 OT） ☎0237-67-2125

認知症施策推進協力員の藤井が皆さまのモヤモヤを解決するコーナー

アルツハイマー病とアルツハイマー型認知症って同じ？



藤井がゆく

アルツハイマー病はドイツの精神医学者アイロス・アルツハイマー博士が、アウグステ・データーという嫉妬妄想と記憶力低下を主訴とする50代前半の女性の症例を1901年に学会発表したことに由来するそうです。最初の症例が若年発症であったことから、初老期の認知症として、老年期の認知症と区別されていたようです。この病気は脳内で特殊なタンパク質異常が起こり、脳内のニューロン・シナプスが脱落し、神経細胞がどんどん壊れ、徐々に脳が萎縮していき、知能や体全体の機能も衰えていきます。1960年代に臨床病理学的研究から、老年期の認知症と同一のものとされ、アルツハイマー病が原因の認知症をアルツハイマー型認知症というようになったそうです。アルツハイマー病の中で65歳未満で発症するものを早発型といい、65歳以上で発症するものを晩期発症型というそうです。さらに早発型は、18歳～39歳で発症するものを若年期認知症、40歳～64歳で発症するものを初老期認知症というそうです。…アルツハイマー病は原因疾患で、アルツハイマー病が原因の認知症のことをアルツハイマー型認知症と言うんですね。

発行元

山形県認知症相談・交流拠点
さくらんぼカフェ
TEL023-687-0387
FAX023-687-0397
皆さまのご意見・ご感想を
お待ちしております。

編集後記

8月9日現在、今年の夏は昨年の夏の最高気温より3度ほど低いとのこと、それでも寄る年波から身体にこたえるようになってきました。良い睡眠、バランス良い食事、笑いのある暮らし。「わかっちゃいるけど、ほんと！これがむずかしい」笑顔あふれるカフェの輪が、いつか私のよりどころになりそうです。（五十嵐）